



動物関係の仕事に就くことが夢で本校に入学しました。普通の高校生ではなかなか経験できない酪農という産業に関われることに特別感を持って活動しています。今は牛の管理がメインですが、将来は犬猫関係の仕事をしたいです。(2年生、部長・関 すみかさん)



兄が当研究部の卒業生でした。共進会や調教の話を知り、この部に入りたいと思い入部しました。北海道のウインターフェアでは、酪農家さんの牛でリードマンを務めました。緊張しましたが、とても貴重な経験になりました。3年生での目標はビッグショウで賞を取ることです。(2年生、副部長・本間 瑞生さん)



動物のことを学びたい気持ちから当研究部を選びました。部員全員が動物好きで、皆優しくフレンドリーなので楽しく活動できています。将来は、この部活で培った継続力を活かしたいです。(2年生、飯塚 姫奈乃さん)



牛の管理だけでなく、JAあがつまで牛乳やレアチーズ、ビーフカレーなどの加工品の販売や、地元の子供達を対象にふれあい教室を開催しており、地域に酪農や動物の魅力を伝えている。



動物が好きで入部しました。自分が調教した牛が言うことを聞いてくれたり、成長していると感じた瞬間にやりがいを感じています。私はまだ共進会で1位を取ることがないので1位を取れるように頑張ります。ここでの経験を活かして夢に向かって頑張ります。(2年生、須藤 美咲さん)

**概要**  
群馬県立吾妻中央高等学校 動物科学研究部  
1年生3名、2年生6名、計9名  
フリーストール牛舎(搾乳牛19頭、育成牛26頭、和牛繁殖2頭、和牛肥育2頭、和牛育成1頭)  
活動内容：日々の飼養管理に加え、共進会に向けての調教やプロジェクト活動に積極的に取り組む。牛以外にもポニー、うさぎ、犬などを飼育し、それらの動物の管理も行なう。  
担当教諭：横山 貞治 先生

(取材=小川)



酪農に憧れや興味を抱き、実践をとおして酪農を学ぶ学生達は今、何に興味を持ち、どのような活躍をしているのか？  
未来の酪農業界を担う期待の星を紹介！

NO.15

群馬県立吾妻中央高等学校



これまで共進会で数々の賞を受賞してきた動物科学研究部では、1人1頭の担当牛が決まっている。部員達は担当牛の調教や牛洗い、毛刈りなどを日々の活動で行ない共進会に望む。



牛の管理など普通科の高校ではできない体験ができると感じて入部を決めました。はじめはあまり大変なイメージはありませんでしたが、できることが増えて調教や管理が大変ということに気がつきました。動物が好きなので将来は動物と関わる仕事がしたいです。もともと小動物関係の仕事に興味がありましたが、今は大動物と関わる仕事にも魅力を感じています。(2年生、小池 明美さん)



生徒達は共進会、農業クラブでのプロジェクト活動、和牛甲子園、JAあがつまでの加工品販売など、数多くの場で活躍しています。楽しく活動することは大前提ですが、せっかく共進会や発表会に参加するからには少しでも良い成績を残して、成功体験を積んでほしいです。(横山 貞治先生)



小さい頃から動物が好きで生物生産科がある本校に入学を決めました。はじめはあまり牛に興味はありませんでしたが、調教や管理をしていくうちにかわいさや感じることが多くなりました。担当していた牛が引退してしまい、新しい牛の担当になりました。立派に調教して共進会で良い成績が残せるように頑張ります。(2年生、岩井 いろはさん)

学生牛部は今!